

令和4年度 第4回 県中本部役員、常任理事、理事研究協議会報告（概要）

（日時：11月16日（水）14:30 開催方法：参集：47名）

《開会前》情報提供

- 1 金港堂：生徒手帳の案内 ☞ 埼玉県版を校長会と共作 資料同封
- 2 中央労働金庫埼玉県本部：情報提供 資料同封

- 1 全日中「第2回理事会」、北海道大会（Web開催）の報告 ☞資料1参照
- 2 県教職員組合との意見交換会の報告 ☞資料2参照
- 3 令和4年度県中全体研究協議会について ☞資料3参照
 - （1）開催方法 Web開催 講演：Webにて生配信
 - （2）9つの分科会 ☞ ブレイクアウトルームを使つての開催（通常通りの運営）
 - （3）分科会の運営シナリオは、12月中に研究部長、常任理事宛てに発送する。
- 4 次年度の関地区中「山梨大会」について ☞資料4参照
 - （1）期日：令和5年6月8日、9日 参加者：492人 埼玉県団：62人
 - （2）大会案内は、常任理事の地区割に従い3月2日の理事会で班理事に配付する。
 - （3）常任理事は、地区割を1月末日までに県中事務局へ報告する。
 - （4）山梨大会は、参集か紙面開催の二者択一で開催（Web開催の準備はできない）
 - （5）参加申し込みは、4月当初になる。参加費は7,000円を予定。
- 5 次年度の全日中「大分大会」について ☞資料5参照
 - （1）期日：令和5年10月26日、27日 参加者：1,827人 埼玉県団：62人
 - （2）大会案内は、常任理事の地区割に従い4月当初の理事会で班理事に配付する。
 - （3）常任理事は、地区割を1月末日までに県中事務局へ報告する。
 - （4）大分大会は、参集、Web開催の二者択一で開催。
 - （5）参加申し込みは、5月県中定期総会までが期限となる。参加費は7,000円を予定。
- 6 情報、提供、及び年度末進路関係諸調査の報告について
 - （1）県私立中高協会との実務担当者会の報告 ☞資料6参照
県中からの要望書を手渡し善処を求めた。
 - （2）年度末進路関係調査の報告 ☞資料7参照
 - ①、令和4度 生徒募集、入学選抜に関する調査について
 - ②、令和4度 県公立高校の入試にかかる学力検査得点の扱いについて
 - ③、令和5度 公的学力テストの実施予定について

（ア）報告期限： 3月17日 （イ）報告方法・報告先：県中事務局へEメールで
- 7 令和5年度の県中の方針・重点、宣言決議案、研究協議題等について ☞資料8参照
 - （1）今年度のものは埼玉大会に準じて作成されているので、原則、踏襲したい。
 - （2）決定までの手順
 - ① 1月12日 本部会・常任理事・理事会に原案を提出する。
 - ② 修正後の原案のデータを、県中ホームページにアップする。
 - ③ 1月31日（火）の全体研究協議会・分科会にて審議する。
 - ④ 3月2日（木）理事会に最終案を提案し、次年度定期総会で承認を得る。
- 8 古岡奨学会第一次選考会議について ☞資料9参照
 - （1）応募者内訳
 - ・応募者：55名（男性：24、女性：31） 県中推薦枠：15名

- ・応募者内申点平均： 4. 3
 - (2) 第一次選考会
 - ・日時：11月16日(火) 13:00～
 - ・選考委員：県中正副会長、さいたま市中学長
 - (3) 可否の通知
 - ・合：校長会から候補者推薦後、古岡奨学会で最終選考を経て、12月末日までに、校長、保護者に通知する。
 - ・不：12月上、中旬ごろ、県中会長名で校長に通知する。
- ※選考にあたっては古岡奨学会の選考基準に基づき行う。(情報開示に耐える選考)
(成績、人物優秀、死別優先、経済的困難等)

9 令和5年度 本部役員等選考会議について

☞資料10参照

- (1) 日時 令和5年2月15日(水) 15:00～
- (2) 会場 ほまれ会館 会議室
- (3) 出席者：正副会長、各地区選考委員(9)
- (4) 協議事項：令和5年度 正副会長、監事候補者選考、正副幹事長等は協議
- (5) 選考委員の選出と報告 ☞ 1月末日を期限に県中事務局へ報告する
- (6) 選考結果は、3月2日開催の理事会で報告します。

10 その他

(1) 提出物の確認

- ① 1月31日発行の県中研究紀要用の執筆・提出について ☞資料11参照資料
締め切り 12月11日
- ② 顕彰者名簿の確認について 令和4年度末に退職予定の校長先生配布願います。☞資料12参照
- ③ 県中専門部、研究部 会計簿の提出(返金含む) 期限：1月31日
- ④ 埼玉県退職公務員連盟会報 第5号 (10月1日) ☞資料13参照資料

11 情報交換コーナー

近々の経営課題について小グループで情報交換をする。

- ・コロナ禍における学校運営の工夫
- ・部活動の地域移行
- ・その他、参加者からのテーマ



① 宮尾会長からのあいさつ、情報提供



② 小グループ情報交換の様子